

川岸発信障害児療育・社会参加支援事業

取組に至る背景・事業の目的

- 平成22年4月に支援学級の保護者が中心に「おでかけクラブ」を結成。
- 障害のある子どもたちも楽しく充実した人生を送るには、仲間とともにつながって勉強すること、生活すること、働くこと、がとても大切である。そのために全力をあげてそれを支援するのが地域社会、大人の使命であると考え。
- このため、支援が必要な子どもとその仲間の友だちが一緒になって参加できる療育事業として外出活動やスポーツ等の体験教室、和太鼓教室、農園活動を計画・運営することによって、支援が必要な子どもたちが社会に参加するための必要な力を育て、地域社会で自立して生きていくことの実現に取り組む。
- また、障害のある人たちも社会を支える人たちと共に働くことができる地域づくりをめざし、多くの人たちから理解がえられ共に生きることができるとまらづくりをすすめる。

事業内容

1. 支援が必要な子どもが社会に参加する力を育てる「おでかけクラブ」「農園活動」を年20回実施。
2. 和太鼓教室を月2回実施し、全国大会に出場。
3. 長期休みの療育・余暇支援活動として地元企業の工場見学や各種機能訓練教室を企画、わくわくステーションとして年3回実施。
4. 中学生が中心となって「ハッピードリームフェスティバル」を企画。「ささえあう社会の可能性をさぐる」について講演会を開催し支え合いの心を広く発信した。



【ハッピードリームフェスティバル】

事業効果

1. 「おでかけクラブ」「農園活動」は大人、子ども合せ延べ752人が参加した。川岸地域の区民農園活動を通じて地域の人達と交流ができた。自然を体感しのびのびと成長している。
2. 和太鼓チームは昨年に引き続き全国障害者大会に出場し、すばらしい舞台上で緊張しながらも練習の成果を十分発揮することができ、やれば出来るという大きな自信となった。
3. 長期休みの療育・余暇活動は延べ162人が参加し、共に悩みや喜びを分かち合い充実した休日を過ごし笑顔がたくさん見られるようになった。
4. 「ハッピードリームフェスティバル」には1000人以上の親子・地域の方が来場し、共に支え合う地域社会づくりへの思いを発信し共感を得ることができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 今年度は、障害のある子どもたちの対象を川岸地域から岡谷市全体に会員募集を広げ活動を充実させてきた。そして長期休みの療育・余暇支援活動の取り組みが始まった。
- 障害児の支援事業が少ない中で同じ願いをもつ会ともつながり、今後は学齢期から成人期までの各ライフステージにおいて、困難をかかえる青少年の就労を支援していくことを目的とした活動に拡大し取り組む。

【選定のポイント】

支援が必要な子ども達が社会に参加する力を育てることで、地域社会で自立していくことが期待される。

団体名 おでかけクラブ（岡谷市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 090-4379-6886 三澤 智行	事業費	1,620,089円
メールアドレス tyuki3@m7.gyao.ne.jp	支援金額	903,000円